

MsSガイド波長距離検査技術



長距離配管のスクリーニング検査が可能！！

“MsSガイド波長距離検査技術”は磁わい現象を利用したガイド波検査システムで、センサ貼り付け位置から数m～数十mのスクリーニング検査が可能です。

※MsSガイド波技術は、米国/Southwest Research Institute社からの導入技術です。



MsSガイド波長距離検査システムの特徴

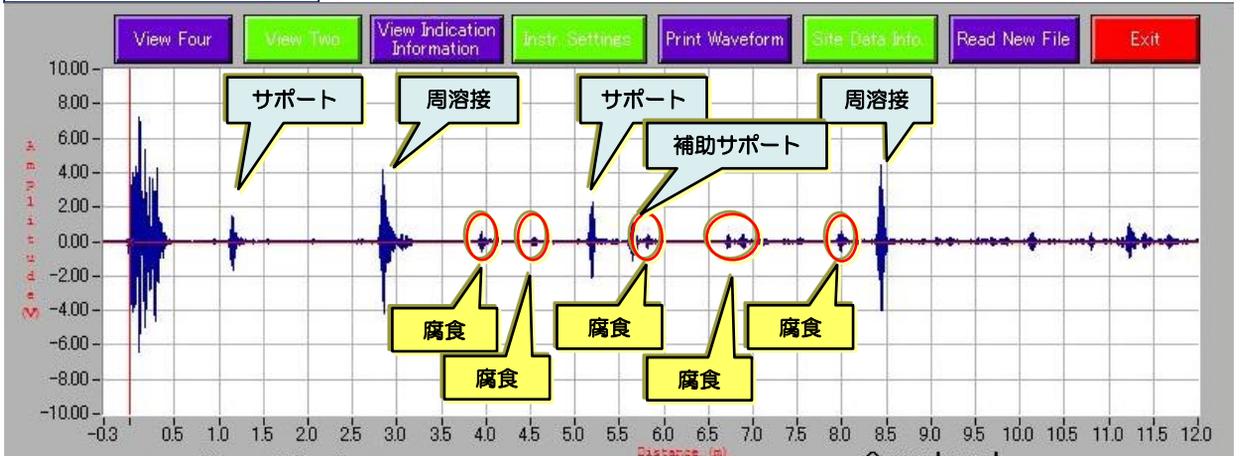
- ①センサが磁わい材料の薄板と励振（受信）コイルで構成されており、管径変化への対応が容易です。
- ②一度に数m～数十mの検査が可能です。
- ③プラントを停止せず稼働中の検査が可能です。
- ④足場仮設等の**付帯工事費用が削減**できます。
- ⑤従来の超音波検査手法より**検査コストが大幅削減**できます。（保温解体復旧費、労務費の削減）
- ⑥**高温配管**（最大適用温度80℃程度）への適用が可能です。
- ⑦真円でなくても適用可能です。
- ⑧大径管へも適用可能です。
- ⑨従来の接着方式でなく高粘性カプラントを使用しており、作業性が向上しました。

MsSガイド波長距離検査技術



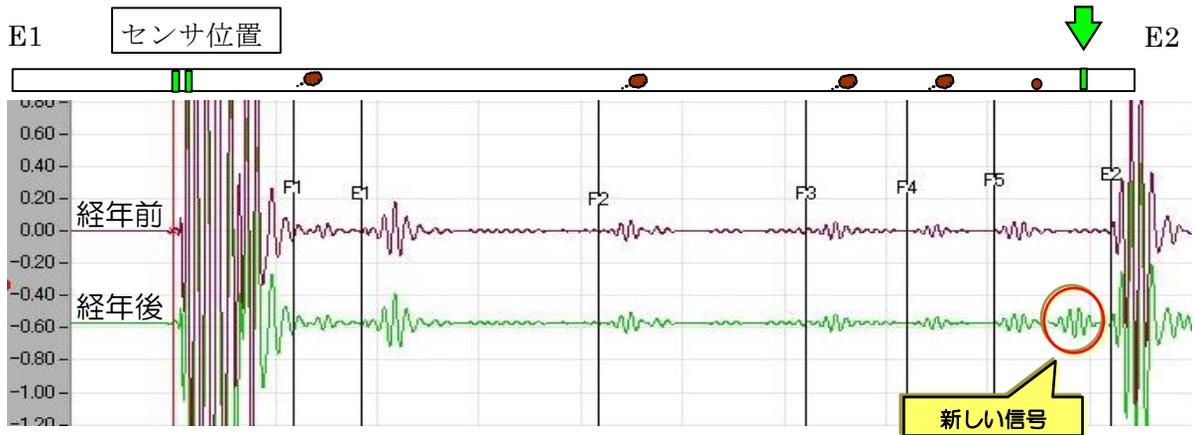
長距離配管のスクリーニング検査が可能！！

波形データ（例）



モニタリング用途への提案

☆ 配管にセンサを取り付けた状態にしておき、経年変化の追跡等に如何でしょうか。



センサ取付と防食処理状況（例）〈この場合は接着方式となります〉

